

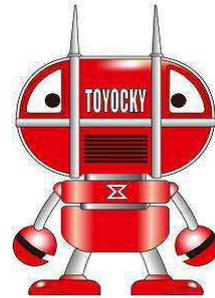
# 公共施設のこれからについて みんなで考えよう！

～未来を担う子ども達のために～



財務部 資産経営課

平成30年度  
地域意見交換会



1

## 地域意見交換会の目的

公共施設の現状及び課題を知っていただく

スライド 4～11 「公共施設とは」「課題A・B・C・D」「課題のまとめ」

市の考えや取組みを知っていただく

スライド 12～14 「市の考え 公共施設のこれから」～

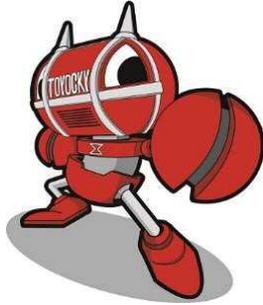


校区の公共施設の活用について考え、  
これからの地域のまちづくりにつなげる

公共施設の活用について、いただいたご意見を参考に、今後の市の計画について検討していきます。

2

## 意見交換のテーマ



- 1 市の考えや取組みについてどう思いますか？
- 2 どうしたら学校の空き教室をもっと活用できると思いますか？
- 3 どうしたら市民館等の校区にある公共施設の利用を増やせると思いますか？

校区ごとに現状は異なりますが、長期的な豊橋市全体の課題として考えていただき、自由なご意見をお願いいたします。

3

## 公共施設とは

はじめに、公共施設にはこんな施設があります。

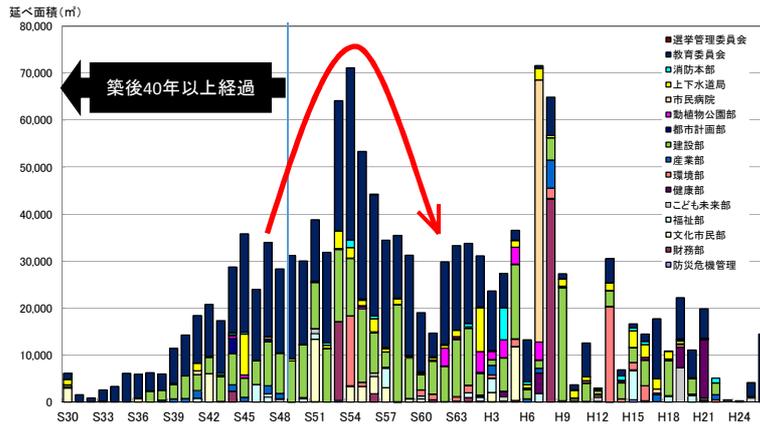
種別	例
市民利用	・校区市民館、地区市民館 ・小学校、中学校、保育園 ・地区体育館、総合体育館、野球場 ・図書館 ・老人福祉センター、地域福祉センター ・公会堂、フラット、アイフラザ豊橋
行政利用	・市庁舎、窓口センター ・消防署 ・資源化センター

4

## 課題A 進む！公共施設の老朽化！

人口増加に伴い公共施設は一斉に整備されてきました。築後40年を超える古い建物が増えてきています。また、学校が全体の3分の1以上を占めます。

【公共施設の整備状況（平成27年3月末時点）】



5

## 課題B インフラも老朽化が進む

インフラとは…道路、橋りょう、上下水道など、生活・経済産業を支える社会基盤。インフラストラクチャーの略称。

【インフラ全体（平成27年3月末時点）】

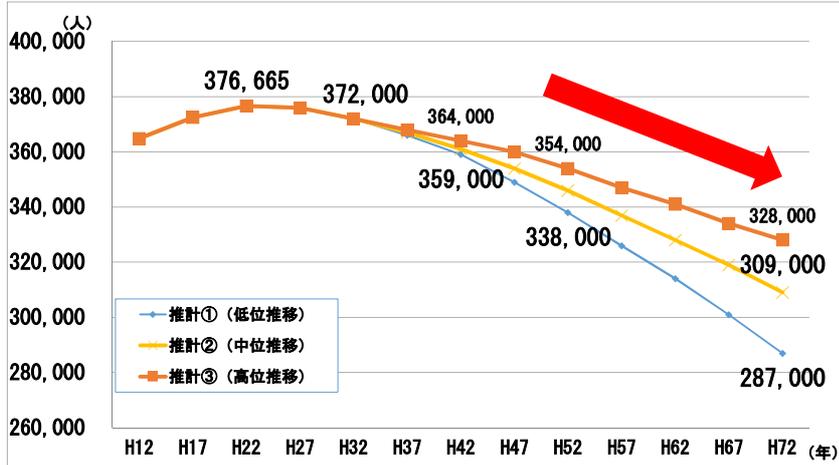
種別	保有状況	種別	保有状況
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線数：13,444路線</li> <li>実延長：3,439km</li> </ul>	水道施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>管路延長：2,202km</li> <li>施設数：45施設</li> </ul>
橋りょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>架設数：1,304橋</li> </ul>	下水道施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>管きょ延長：1,553km</li> <li>施設数：173施設</li> </ul>
河川等	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川・排水路等延長：1,278km</li> <li>排水機場数：28箇所</li> </ul>	その他：公園、公共駐車場	

インフラは市民生活や経済産業に密接に関係し、市民生活には欠かせない重要なものです。その重要なインフラも老朽化が進んでいます。  
(多くが昭和40～50年代に整備)

6

## 課題C-1 豊橋市の人口は減っていく

将来予想される人口の減少！

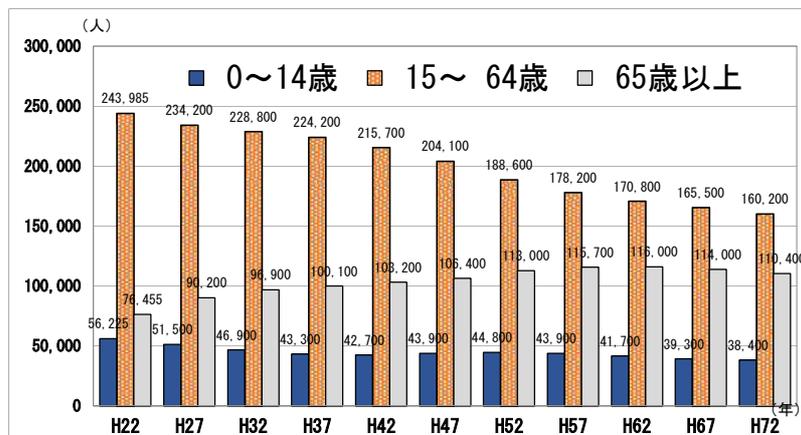


(平成27年：豊橋市人口ビジョン)  
 低位推移・・・このまま自然に出生率が推移した場合  
 中位推移・・・人口減少対策が効果を上げ、出生率が少し改善された場合  
 高位推移・・・人口減少対策が効果を上げ、出生率が大きく改善された場合

7

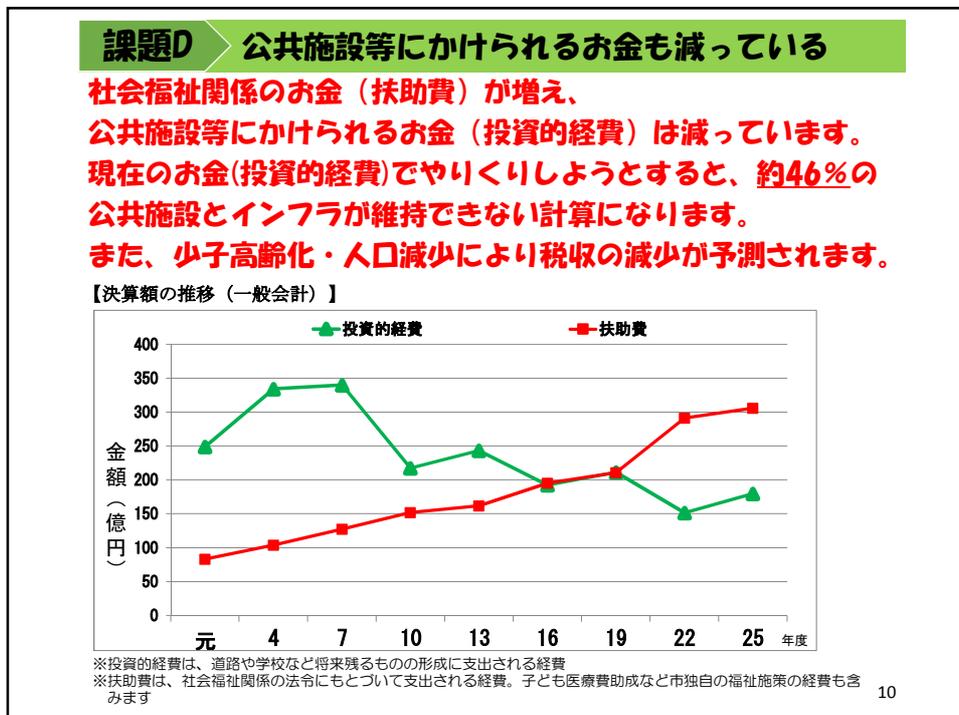
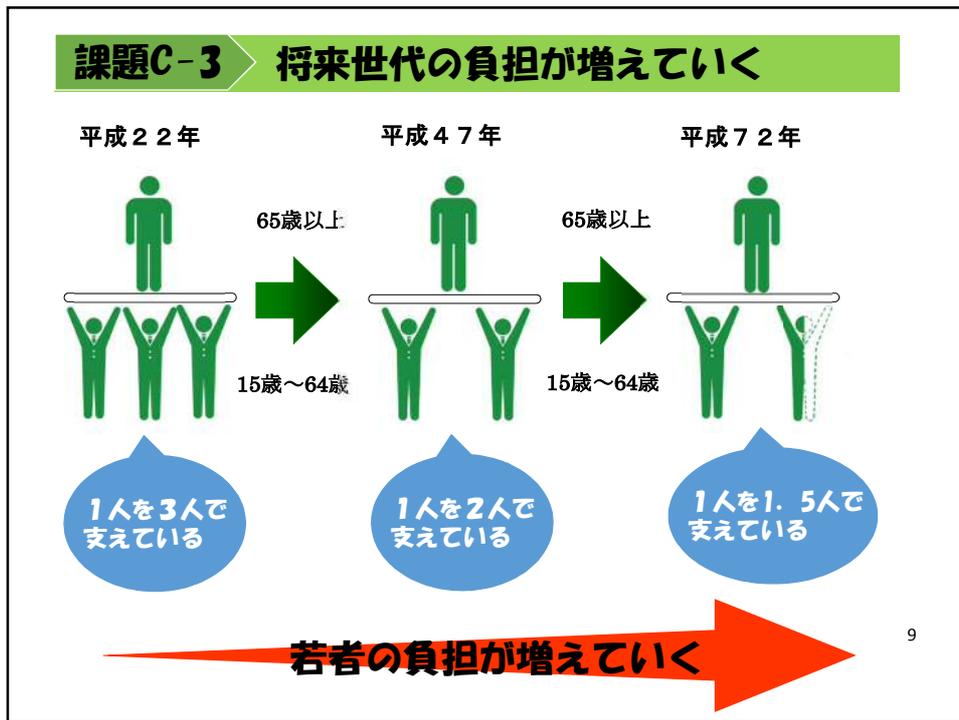
## 課題C-2 ますます進む少子高齢化

生産年齢人口（15～64歳）と年少人口（0～14歳）は減少の一途をたどります。



(平成27年：豊橋市人口ビジョン・中位推移)

8



**課題のまとめ** ▶ **このままだと将来、悪循環を生みます**

**A** 人口増加に伴い公共施設を一斉に整備・老朽化も一斉に進行

**B** インフラの老朽化も進行

**C** 今後、人口減少・少子高齢化が進む

**D** 市の財政・税収も厳しくなっていく

・約46%の公共施設とインフラが維持できない計算になります。  
・インフラは生活や経済産業と密接に関係しているため量を減らすことが難しい状況です。

**このままだと将来…**

地域コミュニティの衰退！

小中学校の空き教室増加・公共施設の稼働率低下！

公共施設の一斉更新で若い世代の負担増加！

11

**市の考え** ▶ **公共施設のこれから**

公共施設の最適化(取組み)

施設の複合化      施設の長寿命化      更新施設の削減

→ 公共施設の有効活用

これから目指すところ

空き教室等の有効活用！

公共施設にかかる将来の負担軽減！

地域コミュニティの確保！

地域住民が相互に関わり、交流する地域社会。

12

**取組み** ▶ **複合化とはこんなイメージ**

▼複合化のイメージ図

小学校 市民館 → 複合施設

長寿命化の工事と併せて実施。

目的や機能が異なる施設を統合し、それぞれの機能を有した複合施設を整備

**複合化と似ていますが、集約化というものもあります。**

▼集約化のイメージ図

市民館A 市民館B → 集約施設

結果、公共施設の量が減る！

目的や機能が同じ施設を統合し、一体の施設を整備

13

**取組み** ▶ **小中学校の遊休空間の活用**

**小中学校の空き教室の活用例**

地域で子どもを育て見守ることが可能

小中学校

- 老人センター
- 保育園
- 児童クラブ
- 公民館

豊橋市で利活用が可能な学校数(試算)

平成27年	小学校13校	中学校3校
平成47年	小学校24校	中学校12校

老人デイサービスセンターを複合化  
(奈良県宇治市)

14

## 意見交換の対象施設

意見交換の対象施設は、学校や市民館など校区や地区の施設とします。全域施設や住区施設は対象としておりませんが、ご意見は伺います。

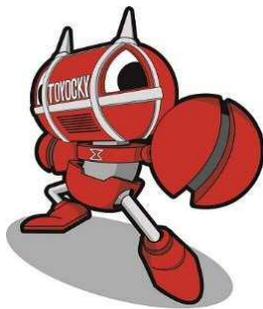


<意見交換の対象施設>

対象	利用圏域区分	具体的な施設
○	校区施設 〔一定範囲の市民を対象とし、教育、レクリエーション、コミュニティ活動等を行う施設〕	小学校・中学校、校区市民館・地区市民館、地区体育館、消防団器具庫・詰所、地域福祉センター など
×	全域施設 〔全市民を対象とし、各種の業務や活動の中心となる施設〕	市庁舎、市民病院、保健所、美術博物館、中央図書館、ライフポートとよはし など
×	住区施設 〔居住地区の市民を対象とした施設〕	市営住宅

15

## 説明は以上です。ご意見をお願いします。



- 1 市の考えや取組みについてどう思いますか？
- 2 どうしたら学校の空き教室をもっと活用できると思いますか？
- 3 どうしたら市民館等の校区にある公共施設の利用を増やせると思いますか？

校区ごとに現状は異なりますが、長期的な豊橋市全体の課題として考えていただき、自由なご意見をお願いします。

16